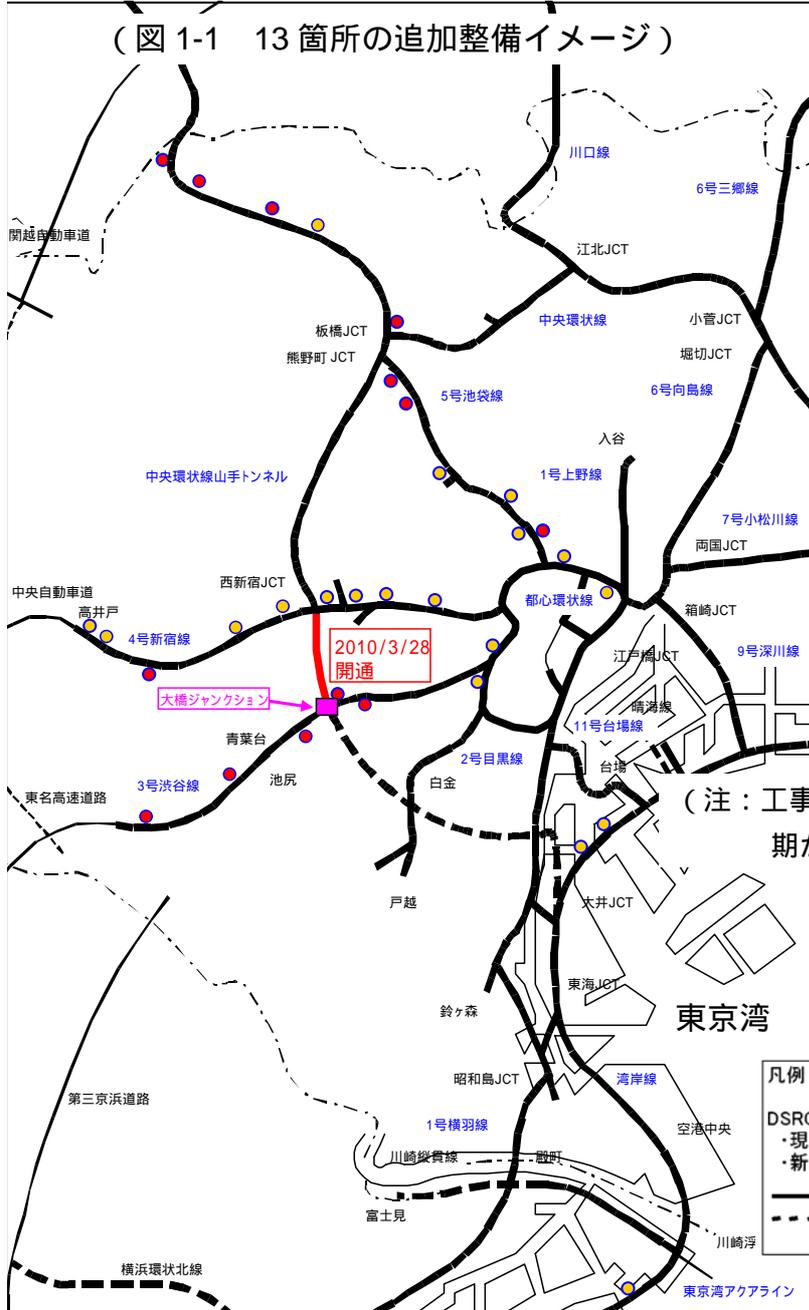


1. スポット通信サービスの拡充

(1) 東名、中央、外環道と接続している3、4、5号線に新たにDSRC路側機を13箇所設置
 平成22年2月26日(金)より(注)現在の19箇所の提供箇所に、新たにDSRC路側機を3号渋谷線で5箇所、4号新宿線・5号池袋線で8箇所を追加配備して充実を図ります(合計32箇所)。今後、首都高のネットワーク有効活用を図るべく、DSRC路側機を2010年度までに約110箇所を整備してまいります。

(図1-1 13箇所の追加整備イメージ)



(注：工事等の都合により一部箇所の提供時期が変更となる場合があります)

凡例

- DSRC路側機
 - ・現状：19箇所 (Yellow circle)
 - ・新設：13箇所 (Red circle)
- 営業路線
- - - 建設中路線

注) 上下(内外)の設置区分
 車両の進行方向に対し、路線左側にDSRC路側機を配置(下図イメージ参照)

進行方向(上り) →
 進行方向(下り) ←

終点 ← 起点 →

首都高速道路の国土交通省との協力経緯

- 平成19年度 2007年度「スマートウェイ2007公道実験」
- 平成20年度 2008年度「ITS-Safety2010 08年度大規模実証実験」
- 平成21年度 3号渋谷線、4号新宿線、5号池袋線にてスポット通信サービスを拡大
- 平成22年度 首都高速道路上約110箇所にてスポット通信サービスを順次拡大予定

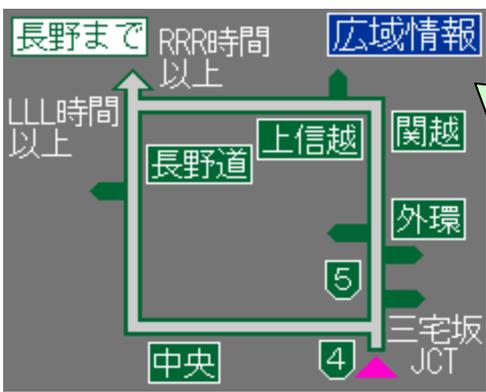
(2) サービス内容の追加および変更

13箇所での提供箇所の拡大に合わせてサービスの内容が追加及び変更となりました。

広域な道路交通情報の提供

広域での主要目的地に対して、経路選択が可能なジャンクション手前で、広域な道路交通情報を提供しております。

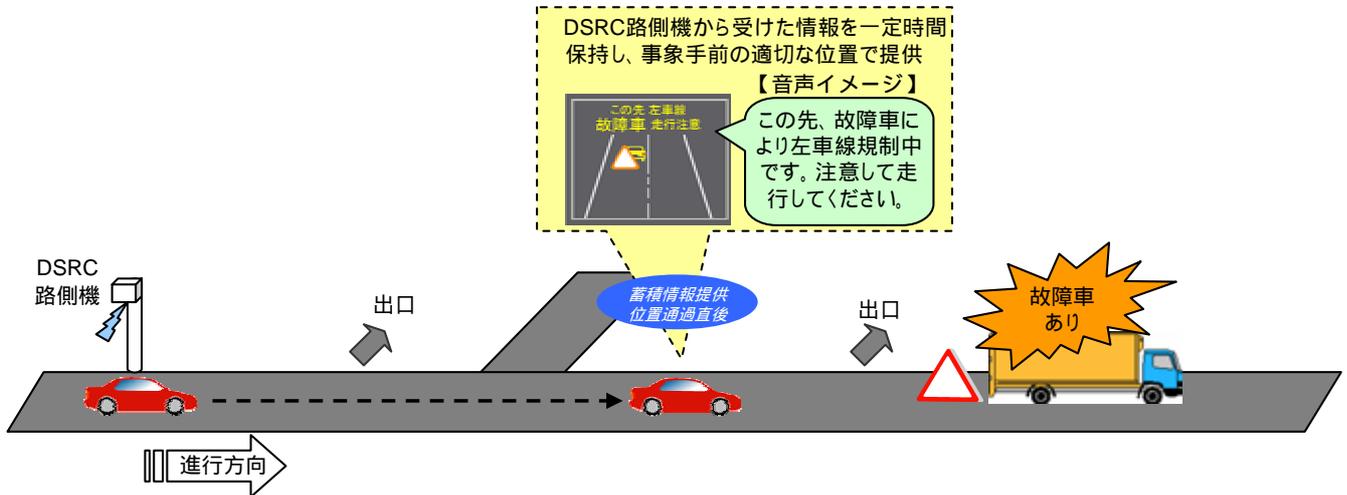
- ・最適なルート選択やカーナビのダイナミックルート検索が可能なように、事象規制リンク情報、渋滞旅行時間リンク情報を常時提供
- ・通行止めや渋滞等の情報を、広域文字情報及び簡易図形情報を提供

提供情報	提供イメージ	提供タイミング
事象規制リンク情報 渋滞旅行時間リンク情報		常時提供
広域文字情報	関越道経由 長野まで 事故 渋滞 30km	事象発生時
簡易図形情報	 <p>【音声イメージ】 首都高速都心環状線内回りを長野方面へ向かわれる方への広域情報をお知らせします。関越自動車道×IC付近で事故が発生しました。この事故の影響で30キロほど渋滞しています。所要時間のお知らせです。神田橋から長野まで中央道経由で時間以上かかっています。神田橋から長野まで関越道経由で時間以上かかっています。以上です。</p>	事象発生時 3/下旬より 常時提供に変更

(図 1-2 広域な道路交通情報の提供イメージ)

事象発生位置手前での注意喚起情報の提供

故障車等の突発的な事象に対して、ITS 車載器の情報蓄積機能により、事象発生位置の手前（1km 程度手前）において注意喚起情報を提供しております。



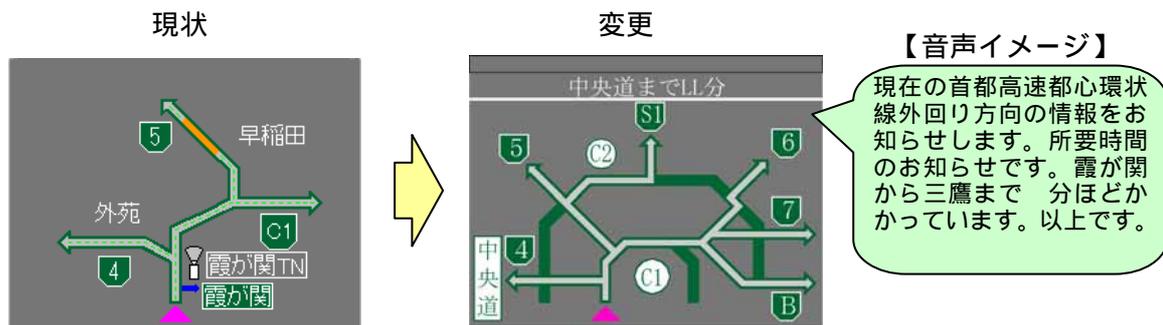
(図 1-3 事象発生位置手前での注意喚起情報の提供イメージ)

ITS 車載器の情報蓄積機能

DSRC 路側機から受けた情報を車載器側で一定時間保持し、情報提供位置に到達した時点で提供する機能。

経路案内情報の改善

提供範囲を拡大した図形に変更し、さらに所要時間の表示、音声案内を加えて、よりわかりやすいサービスになりました。



(図 1-4 経路案内情報の改善イメージ)